



EM-08

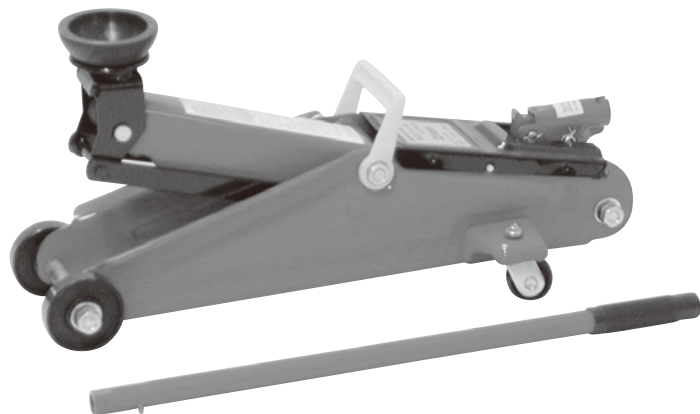
エマーソン

フロアジャッキ 2t

取扱説明書

油圧式

この度は「エマーソン フロアジャッキ 2t」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本製品を正しく安全にご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読み下さい。また、読み終わりましたも、この取扱説明書を大切に保管の上、必要の都度、お読み返し下さい。



エマーソン フロアジャッキ 2t 仕様

品番	EM-08
商品名	エマーソン フロアジャッキ 2t
最低位	130mm
最高位	390mm
最大荷重	2トン
本体サイズ	長さ535mm×幅220mm×高さ130mm
本体重量	11.0キログラム



注意

- ◆ご使用の際は必ずお車の車高をご確認下さい。
またバンパーの形状によっては干渉する恐れがありますので注意下さい。
- ◆一部車種によりタイヤが浮かない場合がありますのでご了承下さい。

生産物賠償責任保険付(PL保険加入済)



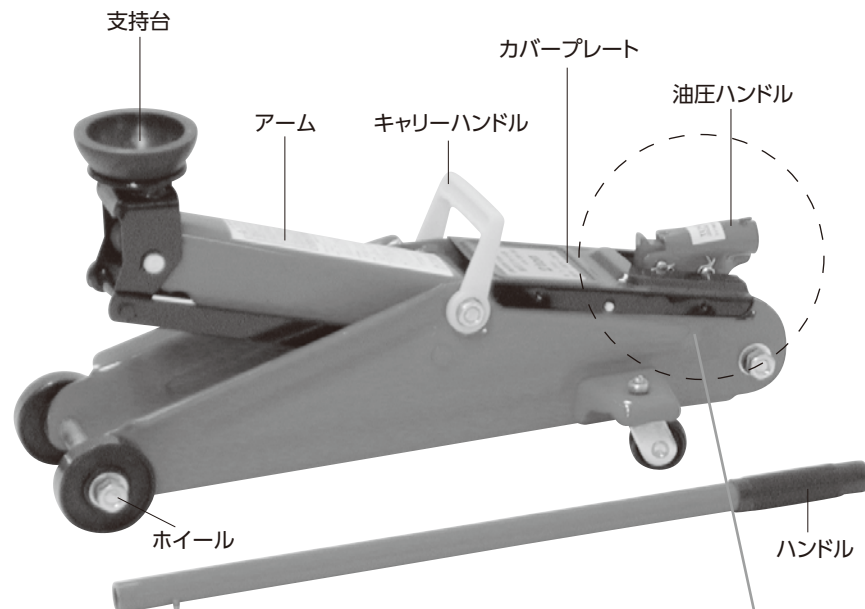
全国自動車用品工業会会員

ニューレイトン株式会社

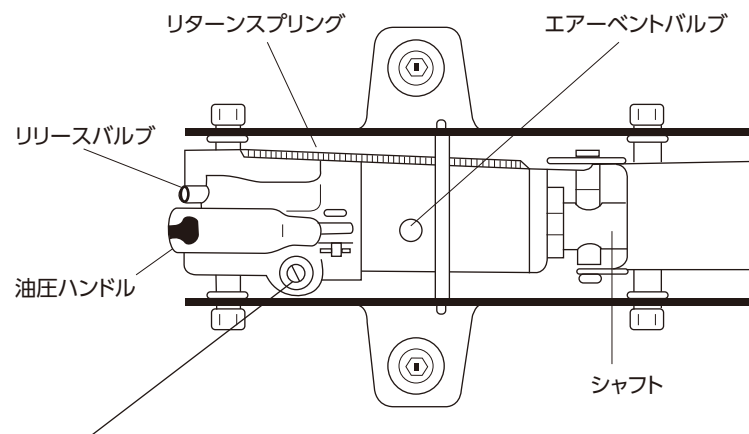
〒133-0065 東京都江戸川区南篠崎町4-14-11

電話 03(3676)2991(代) FAX 03(3676)2996

1.各部名称



シリンダー部分拡大図



※安全弁は絶対に回さないで下さい。
工場での生産時、オーバー荷重を防ぐために調整されています。

2.安全上のご注意

本製品を安全にご使用頂くために、必ずお読み下さい。

- ご使用の前に、必ず、この「安全上のご注意」をお読みになり、正しくお使い下さい。
- 読み終わりましたが、この取扱説明書は大切に保管して頂き、ご使用中に分からなくなった時など、必要な都度、お読み返し下さい。
ここに示す注意事項は、本製品を正しく、安全にご使用頂くためのものです。本製品を使用する方や、周囲への危害や損害などを未然に防止するものです。記載された警告「

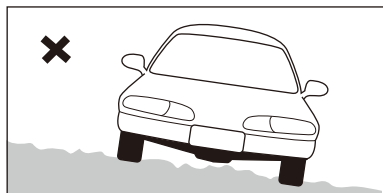
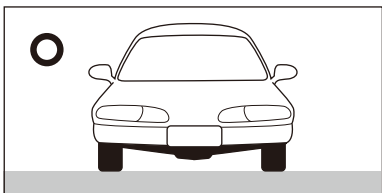
3.使用上の注意と警告マーク

安全に正しくお使い頂くために、必ずお守り下さい。

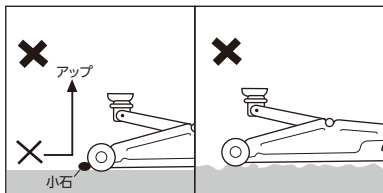
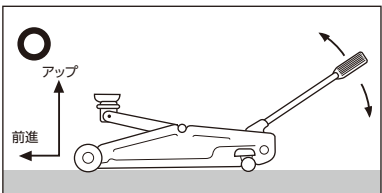
- ご使用の際は、必ずお車の車高をご確認下さい。また、バンパーの形状によっては干渉する恐れがありますので、ご注意下さい。
- ご使用の前に無負荷の状態でごジャッキアップをして下さい。不具合がありましたら、直ちにご使用を中止し、お買い求めの販売店または発売元までご連絡下さい。そのままご使用を続けると、人命にかかわる事故や、物的損害発生の原因となります。ご使用中に不具合が発生した場合にも直ちにご連絡下さい。
- 車体重量2トン以上のお車で使用しないで下さい。ジャッキやジャッキスタンドが破損し、車両の落下や、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。



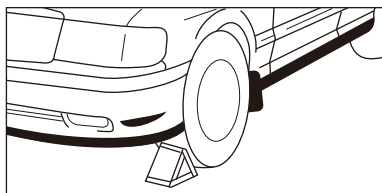
- 本製品は、水平で堅い地面で使用して下さい。柔らかい地面や、傾斜した場所では、設置面を傷つけたり、ジャッキが傾き、車両が落下する可能性があります。ジャッキや車両などの物的破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。



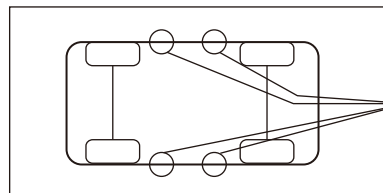
- ジャッキアップする車両のタイヤをまっすぐにし、ジャッキも車体に対し、まっすぐに設置して下さい。ジャッキの向きが斜めの状態でジャッキアップすると、支持台がジャッキポイントからズレて、車両が落下した場合、ジャッキや車両などの物的破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。
- ジャッキアップするに従い、ジャッキ本体が移動するため、設置面に小石などの障害になるものが無い事を必ず確認して下さい。ジャッキが傾き車両が落下する可能性があります。ジャッキや車両などの物的破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。



- お車のエンジンを必ず切り、ギアを「ロー」に(AT車は「P」に)入れて下さい。また、お車が動かないよう、車輪止めをして下さい。

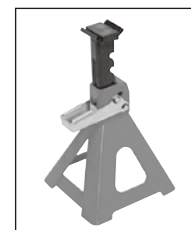


- ジャッキアップする際、お車から全員降りて下さい。車両が傾き、落下する可能性があります。ジャッキや車両などの物的破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。
- ジャッキアップする車両の周囲に人や、他の車両や、物などが無いことを確認して下さい。万が一、作業中に車両が動いた場合、人や、他の車両や、物などに衝突する恐れがあり大変危険です。
- ご使用の前に、必ず各車両指定のジャッキポイントをご確認下さい。指定以外の位置や、パンタジャッキ用のジャッキポイントを使用すると、車両側の破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。分からない場合は、ガソリンスタンド、カーディーラーなどでご確認下さい。



このジャッキポイントでのご使用は車側にキズを付けたり、破損や人命にかかわる事故となる可能性がありますので、絶対に止めて下さい。

- ジャッキアップする際、強度不足の場所でジャッキアップをすると、作業中にズレて車両が落下した場合、ジャッキや車両などの物的破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。
- ジャッキアップする際、必ずジャッキの支持台の中心にジャッキポイントをあわせて下さい。作業中にズレて車両が落下した場合、ジャッキや車両などの物的破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。
- 安全弁は絶対に回さないで下さい。工場での生産時に、オーバー荷重を防ぐために調整されています。
- ジャッキアップの際、必ずジャッキスタンド(馬ジャッキ)をご使用下さい。ジャッキは、お車を上げるための物です。ジャッキだけでご使用になりますと、一ヶ所に荷重が集中し、車両が落下する恐れがあり、ジャッキや、車両側の破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。



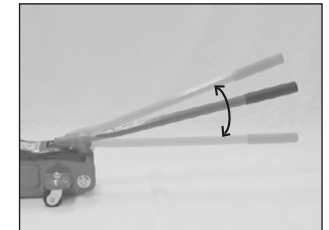
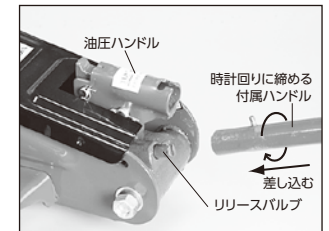
- ジャッキのハンドルは、必ず付属のものをご使用下さい。本製品以外のものでお使い頂くと、正常にお使い頂けないと共にジャッキ本体の故障の原因になります。
- ジャッキアップ中に、ジャッキの支持台とジャッキポイントがズレる可能性があります。安全のため、時々ご確認ください。車両が落下した場合、ジャッキや車両などの物的破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。
- ジャッキアップ中に、車両の下に頭を入れたり、体ごと入っての作業はおやめ下さい。万が一、作業中にジャッキポイントがズレて、車両が落下した場合、ジャッキや車両などの物的破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。
- ジャッキのハンドルは、上げる時、又は下ろす時以外は外して下さい。装着したままの状態、ご使用者や、他の人、又は他の車両や物などと接触すると、ジャッキポイントがズレて、車両が落下した場合、ジャッキや車両などの物的破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。
- ジャッキアップしたままの状態、車両から離れないで下さい。使用者以外の人ジャッキや車両に触り、ジャッキや車両などの物的破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。
- ジャッキを下ろす際には、車両の下に人や物などが無いこと、また、作業する人、あるいは他の人の体が車両に当たらないよう、充分注意をして下さい。ジャッキや車両などの物的破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。
- ジャッキを下ろす際には、必ず、本製品付属のハンドルで、リリースバルブをゆっくりと反時計回りに回して下さい。急に回しますと、車両の荷重があるため、急激に車両が落下し、ジャッキや車両などの物的破損だけでなく、人命にかかわる事故の可能性あります。
- ジャッキを下ろす際には、ジャッキのハンドル以外の場所に触れないで下さい。可動部などに触れたままジャッキを下ろしますとケガなどの原因となります。



4.ご使用方法

ジャッキアップ

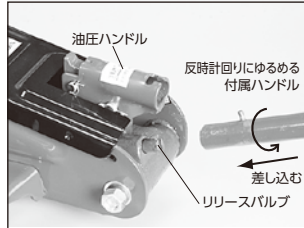
- 1) 本製品は、水平で堅い地面で使用して下さい。
- 2) ジャッキアップする際に、お車から全員降りてください。
- 3) ジャッキアップする車両の周囲に人や、他の車両や物などが無いことを確認して下さい。
- 4) ご使用の前に、必ず各車両指定のジャッキポイントをご確認下さい。
- 5) 正しいジャッキポイントの位置に支持台をあわせて下さい。
- 6) ジャッキアップする車体のタイヤをまっすぐにし、ジャッキも車体に対し、まっすぐに設置して下さい。車両のエンジンを必ず切り、ギアを「ロー」に(AT車は「P」)に入れて下さい。また、車両が動かないよう、車輪止めをして下さい。
- 7) ハンドルをリリースバルブに差込み、時計回りに回してリリースバルブを締めて下さい。締め付けが不十分な場合ジャッキアップできない場合があります。
- 8) ハンドルを油圧ハンドルに差込み上下に動かしますと、アーム部分が上がります。支持台がジャッキポイント近くまで上昇したら、一時中断し、支持台の中心をジャッキポイントにあわせて下さい。
- 9) 支持台の中心にジャッキポイントがかかっている事を確認した後、再度ジャッキアップを続けて下さい。支持台が上がり、車両が上昇します。



- 安全弁は絶対に回さないで下さい。
- ジャッキの支持台の中心にジャッキポイントをあわせて下さい。
- ジャッキアップの際は、必ずジャッキスタンド(馬ジャッキ)をご使用下さい。

ジャッキダウン

- 1) 車両の周囲に人や、他の車両や物などが無いことを確認して下さい。
- 2) 車両の下に人や物などが無いこと、また、作業する人、あるいは他の人の体が車両に当たらないよう、充分注意をして下さい。
- 3) ハンドルをリリースバルブに差込み、ゆっくりと反時計回りに回してリリースバルブを回して下さい。車両が下降します。
- 4) 支持台を一番下まで下げ、ハンドルをでリリースバルブを時計回りにしっかりと締めて保管して下さい。



リリースバルブを急に回しますと、車両の荷重があるため、急激に車両が落下し、非常に危険です。

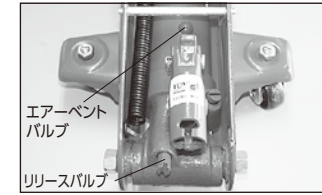
メンテナンス

- 1) ジャッキのホイールなどの可動部分は、時々、潤滑油を差して下さい。
- 2) ご使用にならない場合は、支持台を一番低い位置に下げ、リリースバルブをしっかりと締めて下さい。油圧ピストンがシリンダー内に収納され、サビやキズからジャッキを守ります。
- 3) ジャッキオイルは、「エマーソン純正オイル」、または同等の油圧用オイルを注入して下さい。
※ブレーキオイル、アルコール、グリセリン、洗浄用モーターオイルなど、指定以外の使用は避けて下さい。故障の原因となります。
- 4) 移動や保管の際は、必ず本体の車輪を設置面にして下さい。縦置きや横置きの状態にしますと、オイル漏れや故障の原因となります。

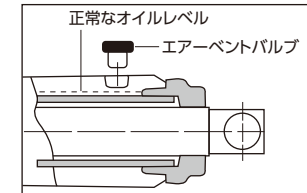


5.オイル補充の方法

- 1) 支持台を一番下まで下げ、水平な地面の上でカバープレートを開け、エアイベントバルブを外して下さい。



- 2) 給油口から「エマーソン純正オイル」、または同等の油圧用オイルを少量ずつ注入して下さい。



エアイベントバルブより10ミリ程度まで補充して下さい。



ジャッキ販売店、発売元へお問い合わせ下さい。



注意

ブレーキオイル、アルコール、グリセリン、洗浄用モーターオイルなど、指定以外の使用は避けて下さい。



警告

火気のある場所や、その近くでのオイルの補充は危険ですのでお止めください。



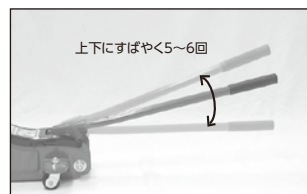
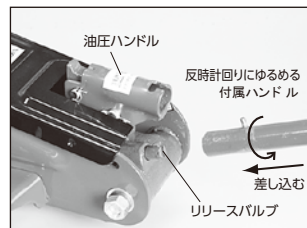
注意

オイルの補充の際、ゴミや、ホコリなどの異物が入らないようにして下さい。

- 3) オイルの補充が終わりましたら、エアイベントバルブを元の状態に戻して下さい。
- 4) オイルの補充後、エアー抜きを行って下さい。

6. エアー抜き

- 1) 支持台を一番下まで下げ、水平な地面の上でカバープレートを開けて下さい。
- 2) リリースバルブにハンドルを差込み、反時計回りに回して下さい。(2～3回転)
- 3) エアーベントバルブを外して下さい。
- 4) 油圧ハンドルにハンドルを差込み、上下にすばやく動かして下さい。(5～6回)
- 5) エアー抜きが終わりましたら、エアーベントバルブを元の状態に戻して下さい。
- 6) 保管する場合は、ハンドルでリリースバルブを時計回りにしっかりと締めて下さい。



注意 リリースバルブを3回転以上回しますとオイル漏れや故障の原因となります。

※正常に動作しない場合は2～3回同じ作業を繰り返して下さい。

7. 万が一、事故や損害が発生した場合について

万が一、本製品の欠陥が原因となり事故や損害が発生した場合は、直ちに発売元までご連絡下さい。また、原因の究明にあたって、下記のような必要最小限の情報のご提供や、現品の回収をお願いする事があります。調査前に処分されないようお願い致します。

- 事故の詳細
- 使用状況
- 現品回収
- 損害のあった物の写真
- 医療機関の診断書
- その他、事故や損害の状況に応じて必要な情報など

8. 故障・異常の見分け方と処置方法

万一、不具合が発生した場合は、下記にもとづいて点検し、処置に困るような時や、原因のはっきりしない時、処置をしても正常に作動しない時は、お買い求めの販売店または、発売元にご連絡下さい。

状 況	原因と対策
上がらない	1. リリースバルブがしっかり締まっていない。 →リリースバルブを時計回りに回して、しっかりと締めて下さい。 2. オイルレベルが低すぎる。 →オイルを補充して下さい。
自然に下がる	1. リリースバルブがしっかり締まっていない。 →リリースバルブを時計回りに回して、しっかりと締めて下さい。 2. 油圧系統にエアーやホコリが混入している。 →エアー抜きを行って下さい。
最高位まで上がらない	1. オイルレベルが低すぎる。 →オイルを補充して下さい。 2. 油圧系統にエアーやホコリが混入している。 →エアー抜きを行って下さい。
最低位まで下がらない	1. 油圧系統にエアーやホコリが混入している。 →エアー抜きを行って下さい。 2. リターンスプリングがはずれているか、老化している。 →可動部分に注油するか、スプリングを交換する。
スムーズに上がらない	1. 油圧系統にエアーが混入している。 →エアー抜きを行って下さい。